

令和4年度事業報告書
2022年7月1日から2023年6月30日まで

法人の名称 特定非営利活動法人サードプレイス

1 事業の成果

鶴見区内で子どもたちの居場所づくりを始めて、6年が経過しました。小学校に入学した1年生が6年間の小学校生活を終え、次のステージへと成長する1つのサイクルの年数です。

6年前から居場所に遊びに来てくれていた小学生だった子が、中学校を卒業し、この春から高校生となり、居場所のボランティアスタッフとして帰って来てくれました。

「自分がここに来て楽しかったから、今遊びに来ている子たちと一緒に楽しみたい」

『場が在り続けること』で帰ってこられる場所が居場所の意義とし、時間軸を意識した場づくりをおこなってきたことが、一つの成果として結実した形となります。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 子どもの発達における総合支援事業

ア 子どもたちの居場所づくり実践

子どもたちの居場所づくりの取り組みを実施。

・公共施設での子どもたちの居場所づくり：地区センカフェ

「行けば誰かいる」という子どもたちにとっての待ち合わせ場所であり、頼れる大人に出会える場づくりの実施。

日 時：毎週火曜日 15:00~17:00 オープンスペース
火曜不定期 18:00~19:00 学習支援

場 所：横浜市寺尾地区センター

開催回数：オープンスペース 46回
学習支援 4回

参加者数：オープンスペース 延べ614人（内子ども545人・大人69人）

学習支援 延べ7人・学習支援ボランティア延べ6人

※鶴見区青少年の居場所づくり活動補助金を受け実施

・公立中学校内での放課後学習支援

中学校の校舎内（図書室等）での放課後学習会の実施。生徒一人ひとりに寄り添った個別対応により、学習の困り事のみならず生活面での相談にも対応。寺尾中学校「てらお地域学校協働本部」の学びづくり部 放課後学び場事業として実施。

日 時：木曜日（月2回） 主に16:00~17:30

場 所：横浜市立寺尾中学校

開催回数：19回

参加者数：生徒 延べ88人・学習支援ボランティア/スタッフ 延べ126人

学習支援コーディネーター 1名配置

・高校生のための居場所「つみれ自習室」

NPO法人ABCジャパン主催事業に連携実施

放課後の高校生の居場所として実施。勉強の目的だけでなく、大学生スタッフに進路相談



や大学生活を聞いたり、就活や推し活などの話をしたりと参加者それぞれが目的をもって参加している。身近にロールモデルがいることで、進学や将来のイメージに役立っている。

日 時：木曜日 16:00~19:00

場 所：鶴見の多文化・多世代の共創拠点 230cafe

開催回数：47回

参加者数：中高生 延べ470人 スタッフ：239名 ボランティア：19名

イ こども家庭支援センターつるみらいの運営

こども家庭支援センターは、児童福祉法に基づき設置された児童福祉施設。地域の子育て家庭の皆さんからの相談に対して、専門的な支援や援助をおこなう。令和2年4月1日に開所。横浜市鶴見区にお住いの方が利用。スタッフは、社会福祉士、臨床心理士、保育士など雇用し運営。

相談対応件数：延べ 4,274件（前年度実績 2,098件）

子育て短期支援事業（一時預かり支援）件数：299件 延べ354日

（昨年実績：115件 延べ134日）

ウ 講演・啓発事業

・寄付の教室

日 時：令和4年11月17日（木）13:35~15:25

場 所：神奈川県立鶴見総合高等学校

参加者：5名

・登壇実績

法政大学大学院ゲストスピーカー

エ 子どもの体感・体験・学習イベント

・つるみ子育て個育ちフォーラムへの参加

子どもたちが健やかに、心豊かに育つ地域づくりを進めていくことを目的に、鶴見区内で子育て支援や青少年育成に携わる団体や区民有志が一堂に会すイベント「つるみ子育て個育ちフォーラム」の運営委員、企画委員として協力。

② 地域資源の調査・研究・開発事業

ア 鶴見の多文化・多世代の共創拠点 230cafe の運営

拠点運営やカフェ営業などを「つみれプロジェクト実行委員会」の協力により実施。

定期開催の企画や学校の授業・町内会とのつながりを通じ、安心できる場所として、親子または子どものみで立ち寄り参加することが増えた。

経営状況の悪化により、2023年1月よりレギュラーでのランチ営業を休止。

店舗を持たないが食事提供を希望する人のチャレンジの機会等を作っている。

ランチ・カフェ営業日数：140日（前年度実績137日）

貸しスペース登録団体者数：81（前年度実績65）

貸しスペース利用回数：301回（前年度実績272回）

延べ利用者数：2,696名（前年度実績2,341名）

主催企画：おなかま食堂 スペース・小箱利用者交流会 ゆるゆるお話し会 えほんともだち

イ 事業の運営申請準備

・鶴見区寄り添い型生活支援事業の受託

横浜市鶴見区内で募集された委託事業の鶴見区寄り添い型生活支援事業にエントリーし、令和5年4月からの運営法人として選定された。

つるみ元気塾の運営（R5.4.1～6.30）

登録人数：5名

開所日数：62日

利用人数：延べ31名

ウ 鶴見区にお住いのひとり親世帯向け食料品提供

コロナ禍により生活に影響を受けているひとり親世帯に対し、寄付で得られる食料品や購入して集めた食料品の配達を継続して実施。配達の際に、食料品以外の困り事の聞き取り、アセスメント。継続相談が必要な家庭を見守り家庭支援センターにつなぎ、定期面談をおこないながらフォローを続けている。

実施回数：9回

配達世帯：延べ64世帯

※令和4年9月からの分は、〈はまぎん〉ミライを創るアクションプログラムの支援を受けて実施。

エ 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

地域のご高齢者の外出の機会づくり、孤立防止のための居場所づくりを目的に介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業サービスB通所型）を実施。横浜市通所型支援：リハビリ体操、ピラティス、映像を見ながら懐古談など

日時：木曜日 10:00～13:30

場所：鶴見の多文化・多世代の共創拠点 230cafe

開催回数：37回

参加者数：219人（内要支援者数：30人）